

授業科目名	子どもの食と栄養	担当教員名	上島 恭子
必修/選択	必修(保育士資格)	開講学年・学期	2年 前期 (年間開講数 2講座)
科目区分	保育に関する科目	単位数	2単位
施行規則に定める科目区分等	保育の対象の理解に関する科目(別表1)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	
授業の到達目標	(1)健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を習得する。 (2)子どもの発育・発達と食生活の関連について理解する。 (3)養護及び教育の一体性を踏まえた保育における食育の意義・目的、基本的考え方、その内容等について理解する。 (4)家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について理解する。 (5)関連するガイドライン(※)や近年のデータ等を踏まえ、特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。 ※「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」(平成23年3月、厚生労働省)、「保育所における食事の提供ガイドライン」(平成24年3月、厚生労働省)等		
授業の概要	子どもの発育・発達過程における食生活と栄養の特性について学ぶ。また自らの食生活を省みて適切な食習慣を実施できる力を身につける。学んだ知識を保育の実践活動に活かし、具体的な食生活支援および食育の場で活用できる力を養う。特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解を深める。		
テキスト	「子どもの食と栄養」監修 公益財団法人 児童育成協会 編集 堤ちはる・藤澤由美子(中央法規出版株式会社)		
参考書・参考資料等	参考資料として、プリントを配布する。		
成績評価の方法	○平常点 : 20% ○定期試験(筆記試験) : 80%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	子どもの健康と食生活の意義	(1) (2) (5)	
第2回	栄養の基本	(1)	
第3回	栄養素の種類とはたらき	(1)	
第4回	日本人の食生活の目標	(1) (2) (5)	
第5回	献立作成・調理の基本	(1)	
第6回	乳児期の授乳の意義と食生活	(2)	
第7回	乳児期の離乳の意義と食生活	(2)	
第8回	幼児期の心身の発達と食生活	(2)	
第9回	学童期・思春期の心身の発達と食生活、生涯発達と食生活	(1) (2)	
第10回	保育における食育の意義・目的と基本的考え方	(3) (5)	
第11回	食育の内容と計画および評価	(3) (5)	
第12回	地域や家庭と連携した食育の展開	(1) (2) (3) (5)	
第13回	家庭や児童福祉施設における食事と栄養	(1) (2) (4) (5)	
第14回	特別な配慮を要する子どもの食と栄養① 疾病及び体調不良の子どもへの対応	(1) (2) (5)	
第15回	特別な配慮を要する子どもの食と栄養② 食物アレルギーのある子どもへの対応	(1) (2) (5)	
定期試験	筆記試験		